

和歌山南ロータリークラブ週報



WAKAYAMA SOUTH R.C. CLUB WEEKLY

2018年12月 第1週

2018～2019年度
国際ロータリー・テーマ



インスピレーションになる

事務所 〒640-8215 和歌山市橋丁23
N-4ビル 2F
TEL(073)423-8822 FAX(073)423-8821
http://www.wminamirc.jp/
例会場 〒640-8156 和歌山市七番丁26-1
ダイワロイネットホテル和歌山 TEL(073)435-0055
例会日 毎週金曜日 12時30分～13時30分

ガバナー 櫻畑直尚
会長 三木菊夫 幹事 柴田哲男
直前会長 野村壮吾 会長レク 山田 守
副会長 櫻畑国俊
会報委員長 石橋英二 副委員長 岩橋一博
委員 田邊 誠 宮下直子 大野貴廉
生駒直也

2018-2019年度 RI会長 バリー・ラシン

「 BE THE INSPIRATION 」

本日のプログラム

2018年12月 7日(金) No.2742

第2798回 例会

- ソング「君が代」・「奉仕の理想」
- 年次総会

次週のプログラム

12月14日(金)

- ソング「みんなで大きな輪になって」
—「親睦」・「奉仕」・「I serve」—
- 卓話「私のロータリー」
前窪 貫志 パストガバナー

会長報告

本日は秋の親睦旅行の土産話をさせていただきます。

旅行当日は、朝から秋晴れ、晴天で本当に旅行日和でした。気持ちよくバスに揺られて到着したのは、滋賀県は信楽、『松茸屋 魚松 信楽店』さんです。「松茸と特選近江牛が食べ放題 名物あばれ食い」という、これでもかと食欲をそそる言葉



をちりばめたキャッチ・コピーに誘われた大勢の観光客が、お昼前からお店の前に並んでいる状態でした。お店に入ると、お土産の松茸や、近江牛を売っている売店があり、それを横目に2階に上がりますと、階段の壁にはこのお店に来店した芸能人の写真が処狭しと飾られていました。あらためて、人気の有名店なのだと認識した次第です。100名ほど座れる大きな広間に通されますと、そこには、すでにすき焼き鍋に「特選近江牛」と「松茸」が山のように積み上げられていました。

すき焼きの味の方は、肉が「特選近江牛」だったかどうかはわかりませんが美味しいお肉でしたし、松茸も妙に白い外国産の松茸ではありましたが、甘辛いすき焼きの香りに負けない程度には「松茸」の香りを楽しませていただきました。つまり『味』の方は十分満足できたのですが、食べ放題で元をとれる程、肉と松茸を食べたかという、少し「？」

マークがついたように思います。今度、親睦旅行で食べ放題にチャレンジするときは、中学、高校生くらいの子供たちを大勢つれてくるべきだと、思った次第です。勝ち負けでいえば、今回は、お店に負けた、というところでした。

その後は、信楽焼きの狸の素焼きに絵付けをして遊ばせていただき、最後に大阪は難波に移動して吉本のお笑いを堪能して、一日の日程を終えました。

なんの事故もなく、無事に家族旅行を終えることができました。上西親睦委員長を始め委員会の皆様には、大変お世話になりました。この場をお借りして再度御礼を申し上げて、本日の会長報告といたします。

幹事報告

2018年12月のロータリーレートは112円と本部より連絡がありましたのでお知らせ致します。

12月度例会プログラム予定表

12月14日(金)

私のロータリー 前窪パストガバナー

12月23日(日)

クリスマス家族夜間例会

近隣RC例会変更のお知らせ

12月 5日(水)和歌山西RC ラヴィーナ和歌山

サイン受付 12:00～12:30

12月12日(水)和歌山西RC ラヴィーナ和歌山

サイン受付 12:00～12:30

12月17日(月)和歌山アゼリアRC アバローム紀の国



前週の報告	2018年11月30日(金)
出席報告	会員81名(出席規定適用免除会員11名)
11月30日	出席58名 ホームクラブ出席者71.60%
11月 9日	出席総数出席61名(免除会員含み)確定出席率:79.22%
	(会員81名 出席規定適用免除会員11名(内出席7名))

四つのテスト (言行はこれに照らしてから) I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

サイン受付 12:00~12:30
 12月18日(火) 和歌山RC ダイワロイネットホテル
 サイン受付 12:00~12:30
 12月19日(水)和歌山東南RC ルミエール華月殿
 サイン受付 12:00~12:30
 12月20日(木)和歌山東RC ダイワロイネットホテル
 サイン受付 12:00~12:30
 12月21日(金)和歌山中RC ダイワロイネットホテル
 サイン受付 18:30~19:00
 *和歌山RC・和歌山東RCのサイン受付はダイワロイネットホテル和歌山の4Fになります。
 *和歌山中RCのサイン受付はダイワロイネットホテル和歌山の3Fレストランサンクシェール前になります。
 近隣RC例会休会のお知らせ
 12月25日(火)和歌山RC
 12月26日(水)和歌山東南RC・和歌山西RC
 12月27日(木)和歌山東RC・和歌山城南RC

12月28日(金)和歌山中RC
 12月31日(月)和歌山北RC・和歌山アゼリアRC
 *サイン受付はございません。
 当クラブ例会変更のお知らせ
 12月21日(日・祝)PM6:00~
 クリスマス家族例会 ダイワロイネットホテル和歌山
 当クラブ休会のお知らせ
 12月28日(金)・2019年1月4日(金)
 クラブ定款第6条第1節に基づき理事・役員会を経て休会と致します。
 *新年例会は2019年1月11日(金)
 会長、幹事より吉本新喜劇の飴をテーブルの上に置いておりますのでお持ち帰りください。
 ロータリー財団管理委員会より2017-2018年度「Every Rotarian, Every Yearクラブ」・「100%ロータリー財団寄付クラブ」として認められるバナーが贈られましたことを報告させていただきます。

卓 話

「職業奉仕について」

和歌山南ロータリークラブ
 田中章慈 職業奉仕委員長
 北芝昌明職業奉仕プロジェクト委員長



1) 三木年度実施会員意識調査結果報告

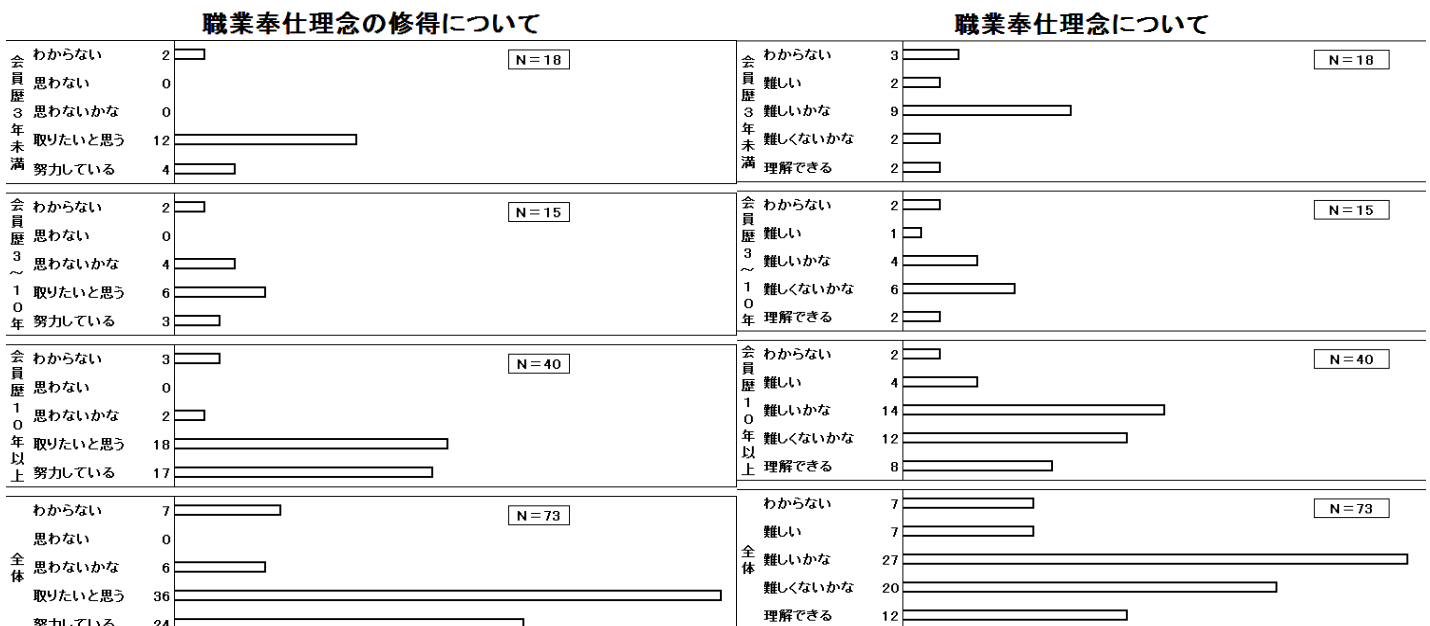
A)職業奉仕理念について以下にある該当項目を選択

- ①難しい。②どちらかという難しい。③どちらかという難しいものではない。
- ④十分理解できる。⑤わからない。

B)職業奉仕理念の把握・修得について以下にある該当項目を選択

- ①掴み取りたいとは思わない。②どちらかという掴み取りたいとは思わない。
- ③どちらかという掴み取りたいと思う。④掴み取ろうと努力している。
- ⑤わからない。

結果と評価



A) 職業奉仕理念について: 会員歴が長くなるとともに「理解できる」が増えていくと考えたのですが、3年以上10年未満で中だるみがあるようです。

B) 職業奉仕理念の把握について: 「つかみ取りたいとは思わない」は0であり、職業奉仕を修得していきたいと考えるのは、経年的に増加していきます。これは極めて健全なロータリアンの姿を現していると考えられた。

2) 経営理念、社是、社訓、好きな言葉等について

3) あなたにとって職業奉仕とは
職業奉仕委員会で冊子にまとめてお届けします。

職業奉仕関連卓話

主題; ロータリー職業奉仕経緯と展望(副題; 職業奉仕は難しいものではありません)

日本の職業奉仕理論は職業倫理論だといわれている。職業奉仕が難しいとされる理由を探り、職業奉仕理念を理解し楽しく活発に職業奉仕を実践していただけることを目的として職業奉仕の経緯と展望について述べる。

ロータリアンの成り立ちをみると、中小・零細企業主の自然発生的な親睦の輪と相互扶助的商取引の拡大と共に職業活動における倫理観と地域社会に対する奉仕が芽生え、いうならばボトムアップで成熟してきた。一方、我が国のロータリアンは官が介在した財政調査団の見聞をもとに完成型ロータリアンの導入であり、トップダウンで普及してきたといえる。

我が国のロータリアン理念の完成型は、満州大連ロータリアンクラブの古沢丈作氏賀が1928年に創案した大連宣言に見ることができる。初期の日本のロータリアンがロータリアン概念をよく咀嚼し日本語に表現したものであるが、難解で威圧的な文体は内容がすばらしいものであるだけに我が国のロータリアンは押し頂くしかなかったのである。

ロータリーモットーの一つであるservice above selfを米山梅吉氏は「サービス第一、自己第二」と紹介し、深川純一氏は滅私奉公的なニュアンスで解説する我が国の伝統的なロータリアン理念において、職業奉仕は職業倫理追求に重きを置き、社会奉仕とは異なったものとして難しく方向付けられてしまったのではないだろうか。

もう一つのモットーであるOne profits most who serves best.について、田中毅氏は、これがロータリー発足以前の1902年に既にビジネススクールの教科書に掲載されていたことを伝えているが、初期ロータリーにおいて内なる奉仕理念と職業倫理観の高まりと外からの職業理念の流入が相まって、ロータリーの中で職業奉仕の大きなうねりとなり、1927年「四大奉仕部門」がクラブの管理運営の基本的枠組みとなり、「職業奉仕」(Vocational Service)がロータリアンクラブ活動に位置づけられたのである。

職業奉仕を支える四つのテストについて、このフレーズを作ったテラー氏の意図が完全に翻訳に反映されているかどうかの論議では、第二フレーズの公平は公正とするのがよい以外はそのままでよいとされた。このテストは「行動への尺度であって、掟ではない」と創案したテラー氏も述べているように、商取引だけに限定したもというよりは人間形成にも通じる、より普遍性をもつのである。

ロータリーで重要なservice という言葉について、1931年にRIが発行した、『目標設定計画』のなかで、「ロータリーでは、これまで“The Ideal of Service”の意味するところを様々な言い方で表してきた」として、以下の4つの言葉を列挙している。

一つめは、Service Above Self / 「超我の奉仕」。二つめは、He Profits Most Who Serves Best / 「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」。三つめは、thoughtfulness of and helpfulness of others / 「他人への思いやり」。四つめは、most of all treating others as one would like to be treated / 「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」、という言葉である。当時のロータリアンは、「奉仕の理念」を、以上の4つの言葉を包含した意味に理解し、これらの4つの言葉は、彼らにとって、「奉仕の理念」の内容を示す同意義の言葉であったといえる。

ロータリーでは、高潔性と高い倫理が重視され、その中でロータリアンによって生みだされた「四つのテスト」と2014年再改定「ロータリアンの行動規範」の2つが職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっている。

「職業奉仕は実利的なものであり、精神的な運動でも倫理的な運動でもありません。ただし、職業奉仕の実践は顧客の満足度を最優先した事業経営の方法であり当然のこととして高い職業倫理という結果が現れます。しかしそれは職業奉仕を実践した結果に過ぎず、職業倫理高揚を目的とした活動ではありません」と田中毅氏が述べているが、ロータリーにおいて職業奉仕は根幹をなす重要な奉仕概念である。

RI発行の職業奉仕入門や、職業奉仕月間の指針にある職業奉仕の実践モデルは、従来の我が国のロータリアンから見ると職業奉仕とはいえない内容が多いとされるが、よく見てみると、これらのプログラムの実践過程で職業奉仕理念を高めていくことを可能とする必要かつ十分な場を提供するものである。

職業奉仕は難しいものでもなんでもない。ロータリアンならば普通に日常行っておられるのであるが、それを意識していないだけである。職業奉仕を意識することがロータリーを楽しく、ロータリアンご自身を豊かにしてくれる王道といえるのである。



ニコニコ箱

畠中君・・・第36ロータリークラブ杯少年柔道大会ご支援頂きましてありがとうございます。多くの方々当日応援頂きまして感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。

中村(真)君・・・楠部さんにいいものをいただきました。ありがとうございました。

前窪君・・・チョットうれしい事があって！！

野村君・・・「モグジョブ」の事で毎日新聞に取りあげていただき麻生支局長ありがとうございます。

柴田君・・・親睦委員会の皆様 親睦家族旅行お世話になりました。

前嶋君・・・チョット良い事があって！

岩井君・・・橋本先生、上西先生いつも有難うございます。林さん、戸井さん、昨日は一日お世話になりました。

藤林君・・・上西先生ごちそうさまでした！

林(芳)君・・・戸井さん、岩井さんにお世話になって。

戸井君・・・林さん ごちそう様！

第36回和歌山南ロータリークラブ杯 和歌山市小学生学年別柔道選手権大会

11月23日(金)和歌山県立武道館において恒例の和歌山南ロータリークラブ杯和歌山市小学生柔道大会が開催されました。この大会も36回を迎え、同じく支援している野球について長い歴史を持つ大会と成りました。

三木会長の開会挨拶のあと、午前10時より試合が始まりました。試合は約百数十名の選手が学年別に別れて争います。小学生なので3年生までは男女混合、4年生以上は男女別での試合となっていました。柔道らしく必ずしも体格のよい選手が勝つとは限りません。特に決勝戦は見ごたえのある試合も多くありました。

試合はお昼過ぎに怪我する人もなく無事終了。今回負けて泣いていた選手も、また一年練習して次回は笑えるように頑張ってください！

報告者:野島好史青少年育成委員長

※なお試合の写真と動画は南ロータリーLINEのノートとアルバムにアップされています。ぜひご覧ください！



今年の選手たちです



表彰式



試合風景

